

学校関係者評価委員会

令和5年度学校評価外部報告書および学校評議員会での協議内容をもとに、以下の項目について、4点法での評価をお願いしました。

評価の目安

1	2	3	4
適切でない	あまり適切でない	ほぼ適切である	適切である

評価項目

(学校評議員8名の方の評価平均)

学校経営の重点	自己評価は適切か	改善の方策は適切か
A 自己実現を目指した進路指導の充実	3.3	3.0
B 学力向上を目指す学習指導の充実	3.0	3.0
C 内面理解に基づく生徒指導の充実	3.3	3.4
D 実践力を培う健康教育と安全教育の充実	3.5	3.5
E 魅力ある学校づくりの推進	3.6	3.6

来年度に向けての意見・提案等

A 自己実現を目指した進路指導の充実 について

- ・課題探求活動を教職員も踏まえて、明確な意思を生徒に持たせて上で、実践していく必要があると思います。
- ・1年の時から将来を考えて、どのような進路で大人になっていくかを決められる人に育てるのが大事だと思います。
- ・生徒の自己実現に資する心理指導に向け、早期から志望校に照準を合わせた緻密な戦略を立てることが肝要だと思います。生徒が進学を希望する（しそうな）受験先の募集形態や試験科目、出題傾向に関する情報の収集、分析を毎年随時に行い、傾向等を見極めることにより合格する可能性が上がる場合もあり、大手予備校から情報協力を得る等できないのでしょうか。（もう試されているかもしれませんが）

例) 選択科目のうち数学のみ得点調整を行い、他の科目には調整なくかつ毎年難問が出題される学部学科 etc...→この場合、合格者の多くは数学で受験している実態あり

- ・アンケート結果を見ると家庭学習時間が少なく、スマートフォンなどでのゲーム、動画、SNSに時間を使っている生徒が多い。自由時間として使用するのはいいが、時間を決めずに見ているとキリが無い。1日の平日と休日のタイムスケジュールを考えて提出させ、それが行動に移せたかを報告提出させるとかし、意識付けは必要な気がする。18歳が成人になっている現在、将来の姿は先で

はなく、すぐそこにあります。学力をつけるのは高校生が大切な時期であるのに、親も子も意識が低い。舞子高校の進路を底上げするには厳しく指導しては。自主学習ができないのであれば、課題、宿題、学習アプリを活用して机に向かう時間を増やすべき。

B 学力向上を目指す学習指導の充実 について

- ・ ICT の活用は先生方の改革だと思うので、先生方の研修が重要だと思います。
- ・ ICT の活用方法について各教科の連携・研修も考えていかなければならないと思います。
- ・ 部活を頑張っている生徒や充実した学校行事の後に学習意欲も上がる傾向にあると思うので、メリハリを。
- ・ 進路の実績、特に国公立進学者数が長期的に伸び悩んでいるのが気になる。1年から3年までの進路実現に向けた計画的な「しくみ」が必要だと思う。「学習の仕方」「進路希望を検討するステップ」「学外者からの情報提供」など
- ・ 家庭学習時間を増やす方策は必要、そのために SNS 等の時間を減らす等も必要である。

C 内面理解に基づく生徒指導の充実

- ・ 校則の見直しは必要だと思います。
- ・ 舞子祭や体育祭を通じての協力、また学校側の生徒の声を聞くチカラによって、人間力や自己の強さも向上すると思うので、人とのコミュニケーションを大切に。
- ・ 生徒指導はうまくいっているように思います。
- ・ 自分のことが分かった後に、他者への思い、気配り、絆が深められて行けるように、適切なアドバイスが大事なので、各生徒をよく見守る必要があると思います。

D 実践力を培う健康教育と安全教育の充実

E 魅力ある学校づくりの推進

- ・ 保護者や大人目線からの魅力ではなく、受検生から魅力ある学校づくりを意識して。
- ・ 先生方は気にしないでしょうが、ネットの口コミも参考に。
- ・ 資料から来校外部講師や生徒が出向いて行く講義等、他校にない特色があり、生徒達は充実した授業を受講している事は大変良い経験である。

令和5年度 学校評価（自己評価）表

教育目標

「誠実 健全 親愛 勤勉」の校訓のもと、人格の陶冶をはかり、知・徳・体の調和のとれた、みずみずしい感性を備えたところ豊かな人間を育成する。

教育方針

激変する社会で確かな判断をするための「学力」、「体験」、「コミュニケーション能力」の3つに挑戦し、自立して未来を生きぬく力を育む。

キャッチフレーズ

ワンランク上への自分磨き 舞子高校

学校経営の重点

		評価
A 自己実現を目指した進路指導の充実	A 1 自己理解を深めるための情報共有や相談活動を充実させる。	3.0
	A 2 勤労観・職業観を育成し、主体的に進路を選択できる能力・態度を育てる。	3.1
B 学力向上を目指す学習指導の充実	B 1 学力の3要素(①知識・技能 ②思考・判断・表現力 ③主体性・多様性・協働性)を育成するため、指導内容の充実と指導方法の工夫・改善を行う。	2.9
	B 2 より分かりやすく達成感が味わえる授業の実現に努め、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図り学力の向上を目指す。	3.0
C 内面理解に基づく生徒指導の充実	C 1 人間的なふれあいを通じて心のきずなを深め他者を思いやる心を育む。	3.2
	C 2 規範意識や公共心などの社会性を培い、生徒の自主性・自律性を育成する。	3.2
D 実践力を培う健康教育と安全教育の充実	D 1 自他の生命を尊重し、生涯にわたって健康で安全な生活を送ることができる態度・習慣を培う。	3.2
	D 2 災害等から生命を守る実践的態度や能力を育成し、点検や訓練を通して学校生活の安全を徹底する等、安全意識の高揚を図る。	3.0
E 魅力ある学校づくりの推進	E 1 地球規模で考え地域で活動する(Think Globally, Act Locally)人間の育成に努める防災教育を充実させる。	3.0
	E 2 自尊感情を高め社会に貢献できる人材を育成するために、特色ある教育課程の充実や体験的な学習を推進する。	3.2

各部署の重点目標

		評価			評価
A	A 1 自己理解を深めるための情報共有や相談活動を充実させる。	3.0	A 2 勤労観・職業観を育成し、主体的に進路を選択できる能力・態度を育てる。	3.1	
	進路2 進路情報の共有	2.9	進路1 主体的進路決定能力の育成	3.0	
	進路3 進路実現のための学力の育成	2.8	3年1 進路実現を図る	3.1	
	環防3 教員間の連携	3.0	3年2 自立心の伸長	3.1	
	2年3 自己実現を目指した進路指導	3.1			

		評価			評価
B	B 1 学力の3要素を育成するため、指導内容の充実と指導方法の工夫・改善を行う。	2.9	B 2 より分かりやすく達成感が味わえる授業の実現に努め、学習意欲の向上と学習習慣の定着を図り学力の向上を目指す。	3.0	
	教務2 学習指導の充実	2.7	教務3 新学習指導要領の実施	2.8	
	進路3 進路実現のための学力の育成	2.8	1年2 自ら学ぶ意欲の向上、基礎学力の定着	3.1	
	環防1 専門科目や課外活動を通した「学力」の育成	3.1	2年2 基礎学力の定着と向上	3.0	
	2学3 自己実現を目指した進路指導	3.1	3年1 進路実現を図る	3.1	

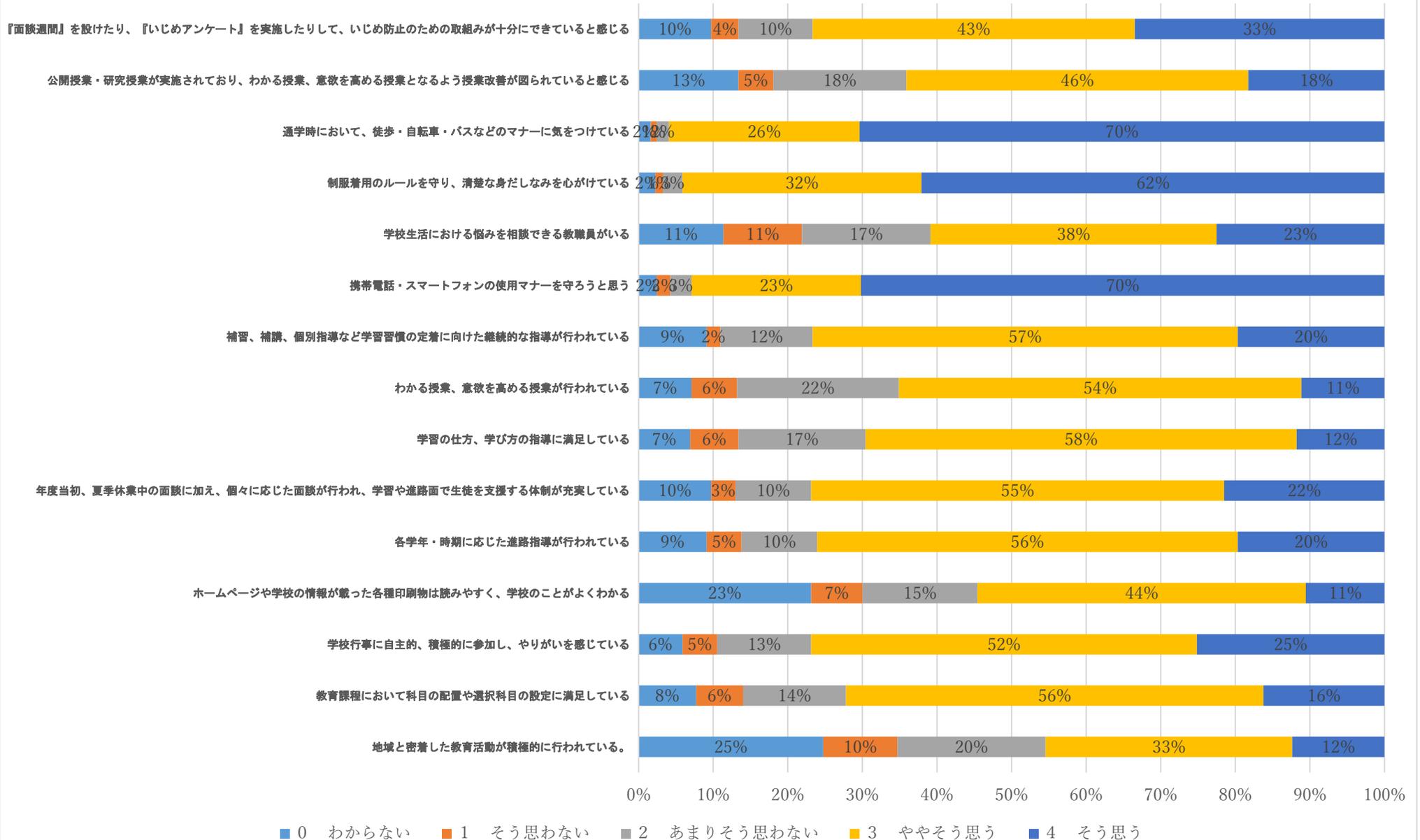
		評価			評価
C	C 1 人間的なふれあいを通じて心のきずなを深め他者を思いやる心を育む。	3.2	C 2 規範意識や公共心などの社会性を培い、生徒の自主性・自律性を育成する。	3.2	
	総務2 人権教育の推進	3.3	総務1 体験を通じた生徒の主体性育成と学校の活性化	3.2	
	生指1 学校行事、生徒会活動、部活動の活性化	3.2	総務2 人権教育の推進	3.3	
	生指2 生徒の内面理解を通じたいじめ防止、自殺防止、マナー向上等、安心・安全な学校づくり	3.3	生指1 学校行事、生徒会活動、部活動の活性化	3.2	
	保健3 心の教育の推進	3.2	生指3 全教員が共通理解をもって取り組む生徒指導	3.1	
	1年1 人を思いやる心の育成	3.1	1年1 人を思いやる心の育成	3.1	
	2年1 思いやりと感謝の気持ちを持った、協調性のある生徒の育成	3.3	2年1 思いやりと感謝の気持ちを持った、協調性のある生徒の育成	3.3	
	3年3 豊かな人間性の育成	3.2	3年3 豊かな人間性の育成	3.2	

		評価			評価
D	D 1 自他の生命を尊重し、生涯にわたって健康で安全な生活を送ることができる態度・習慣を培う。	3.2	D 2 災害等から生命を守る実践的態度や能力を育成し、点検や訓練を通して学校生活の安全を徹底する等、安全意識の高揚を図る。	3.0	
	総務3 安心・安全な学校作りへの取組	3.3	総務3 安心・安全な学校作りへの取組	3.3	
	生指2 生徒の内面理解を通じたいじめ防止、自殺防止、マナー向上等、安心・安全な学校づくり	3.3	保健2 安全教育・健康教育の推進	3.0	
	保健1 健康管理の重要性の認識・主体的に健康管理できる能力の向上	3.2	環防3 教員間の連携	3.0	
	保健2 安全教育・健康教育の推進	3.0	ユネスコ1 持続可能な防災	2.8	
	3年2 自立心の伸長	3.1			

		評価			評価
E	E 1 地球規模で考え地域で活動する(Think Globally, Act Locally)人間の育成に努める防災教育を充実させる。	3.0	E 2 自尊感情を高め社会に貢献できる人材を育成するために、特色ある教育課程の充実や体験的な学習を推進する。	3.2	
	総務3 安心・安全な学校作りへの取組	3.3	総務1 体験を通じた生徒の主体性育成と学校の活性化	3.2	
	保健2 安全教育・健康教育の推進	3.0	教務1 教育課程の編成	3.2	
	環防2 生徒・教員・地域の協働、地域ぐるみの防災力強化	3.3	環防1 専門科目や課外活動を通した「学力」の育成	3.1	
	ユネスコ1 持続可能な防災	2.8	環防2 生徒・教員・地域の協働、地域ぐるみの防災力強化	3.3	
	ユネスコ2 持続可能なエネルギー環境教育	3.0			
	ユネスコ3 持続可能な国際交流	2.7			

R5 生徒評価

(回答数493人)



R5 保護者評価

(回答数124人)

